

まちづくり達成状況報告書（事務事業点検シート）

課等名：都市計画課 シートNo：88 作成日：2024/2/16

① 総合計画上の位置付けと事務事業説明

後期 基本 計画	施策の大綱	V都市基盤の充実	背景・課題	目的・意図
	施策の目標	3快適な都市環境の整備を進める	水海道都市計画区域では昭和45年に市街化区域と市街化調整区域との線引きが実施されました。調整区域では都市計画法34条の立地基準を満たさないと建築物の立地が出来ず、開発許可制度にもとづく厳格な立地審査が行われてきました。一方、石下都市計画区域では未だ非線引きであり立地用途は問われませんが、法33条の技術基準が審査され周辺環境に配慮した開発許認可審査が実施されています。	良好な都市環境の創出や保存のため、スプロールのな事業者の一方的で無秩序な宅地開発を防止し、都市計画法に基づく開発許可制度を運用し、適正にコントロールされた宅地開発の誘導に努めています。
	施策	2住宅・宅地		
	施策内容	適正な宅地開発の誘導		
	その他、根拠法令及び分野別計画	都市計画法		
事務事業名	開発行為経費			

② インプット（投入）

主な予算科目	会計名	
	一般会計	
	款	土木費
	項	都市計画費
	目	都市計画総務費
事業		開発行為経費

③ 主なアクティビティ（活動）とアウトプット（結果）

アクティビティ（活動）				アウトプット（結果）	
活動名	対象者	活動指標（回数・件数・日数等）		活動指標（参加者数・面積等）	
		R5年度実績値	R5年度目標値	R5年度実績値	R5年度目標値
法違反宅地に対する指導	事業者	16回	10回	1件改善	1件改善
窓口事前相談件数	申請者・代理人	2,500回/年	—	65件 (R6.1までの許可等件数)	—
開発行為検討委員会の開催	関係法令各課市職員	2回/年	—	関係他法令の確認	—
令和5年度集合研修「開発許可」への参加	市職員	3日間/1回	3日間/1回	職員審査スキル向上	—

④ 初期・中間アウトカム（成果）

指標名	成果指標	
	R5年度実績値	R5年度目標値
適正で迅速な宅地審査	審査期間 (標準処理期間比95%)	審査期間 (標準処理期間比100%)
5年開発行為完了検査率	98.9%	90.0%以上

⑤ 最終アウトカム（成果）

指標名	成果指標	
	R5年度実績値	R9年度目標値
適正で迅速な宅地審査	審査期間 (標準処理期間比95%)	審査期間 (標準処理期間比100%)
5年開発行為完了検査率	98.9%	90.0%以上

⑥ 点検

改善の余地							今後の方向性	
■	コスト	■	活動	□	成果	□	その他	今後は各種大型工業団地の開発審査案件が複数見込まれています。複雑な開発審査が想定されますが、職員のさらなる審査能力及び技術力向上を図り、法に基づく適正な審査を迅速に行うことにより、都市計画としてコントロールされた良好な都市環境を創出することを促進します。
業務の振り返り								
開発許可制度に伴う許認可事務量については、窓口相談業務が大きな比重を占めます。相談された内容について正確な回答を期すために、複雑な案件では個人の判断に寄らず複数の職員間で状況を共有したうえで、後日回答することもしょなくありません。職員の審査スキルを向上させることにより、正確迅速な宅地審査を目指します。								